



















令和3年度第2回目和歌山県1社1元気技術登録

事業者名	登録技術・製品の名称																								
株式会社ラテスト	炭化物、鉱物等微細化技術及びそれらのペースト調製技術																								
事業者概要	登録技術・製品の内容																								
<p>代表者名: 中川勝城 資本金:300万円 設立年月日:平成3年3月10日 従業員数:12名 所在地:649-6261 和歌山市小倉4-1-3-3 TEL:073-465-3510 URL:http://latest.co.jp</p>	<p>独自の微細化技術及びペースト調整技術を用いて、すでに多くの炭化物、鉱物、天然物等の微細品を製造・販売。現在では、それらの販売拡大を目指し、微細品の品質安定化技術、安全性保持技術、ペースト分散技術を開発している。 備長炭等の特性を活かし、以下のものに用途展開をしている。 (特性) 吸着性、除湿性 (用途先) 家庭用品 (特性) 遠赤外線機能 (用途先) 繊維 (特性) 天然素材、黒色 (用途先) 化粧品・インク・食品・色材</p> <p style="text-align: center;">備長炭粉碎品一覧 株式会社ラテスト</p> <div data-bbox="1025 890 1933 1396" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <table style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">原料</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">粒状</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">パウダー</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ペースト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2" style="text-align: center;">↓</td> <td style="text-align: center;">↓</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">脱臭剤</td> <td></td> <td style="text-align: center;">化粧品</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </div>	原料	粒状	パウダー	ペースト						→	→	→		↓		↓		脱臭剤		化粧品				
原料	粒状	パウダー	ペースト																						
																									
	→	→	→																						
	↓		↓																						
	脱臭剤		化粧品																						
																									
事業者PR																									
<p>サステナブル素材として注目されている天然由来の備長炭、竹炭を微細化したものを高分子化。繊維などへの混練や色材として使用することで、特徴的な製品の創製が可能となる。弊組合は、そのために微細化技術（粉碎）と水への高分散化（ペースト）技術の蓄積を行っている。また、備長炭等は自然由来の素材であり安全性が高い食品添加物として、黒色素としての活用も拡大している。</p> <p>扱う製品は他の素材と複合することが多いことから、その配合性や安定性に配慮した製品化に注力している。</p>																									